

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



創立 1967年12月26日

- 会長 小川 芳男
- 幹事 大矢 克巳
- 会報委員長 中 恒夫

大東ロータリー会長テーマ

「輝かしい伝統を心に・変革を！」

2015年~2016年度
国際ロータリーのテーマ

世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラン

平成28年6月21日 No.2340

H28.6.14 (No.2339の例会記録)

今週の卓話 (6月21日)

「今年度の実績報告と反省」

各委員長 (会計・SAA)

次週の予定 (6月28日)

「今年度の実績報告と反省」

会長・幹事

先週の例会報告

◆ 出席報告 (6月14日分)

会員数 41名 出席数 35名 欠席者1名
特定免除 4名 その他免除 1名
出席率 97.22%

前々回5月31日分

ホームクラブの出席者 31名 93.94%
メイクアップの結果 33名
特定免除 6名 その他免除 1名
欠席者 0名 修正出席率 100.00%

ゲスト

米山奨学生 カドゥカ マダン さん

ロータリーソング

「それでこそロータリー」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

後面に記載



日曜日、京都の善峰寺に参拝してまいりました。900年の歴史がある寺ですが、応仁の乱に巻き込まれて伽藍が消失し、のち、江戸時代になってから5代将軍綱吉の生母桂昌院の寄進によって再興された古刹です。桜や紅葉や五葉松でも有名ですが、梅雨時の紫陽花が素晴らしい所です。谷一面に咲き誇った紫や赤い花は、雨の中なお鮮やかさを増し美しいものでした。一度訪ねて見ては如何でしょうか、これからが本番だと思います。



今週の土曜日、塩釜東ロータリークラブの50周年記念式典が開催され、お祝いに行く予定になっています。遠路はるばる私達の例会に来られ、式典出席のお誘いを受けました。あの震災からのお付き合いで、大東ロータリークラブ45周年記念式典のお祝いにも来て頂きました。東北は、まだまだ復興途上にあり、その中での50周年記念式典の開催は、東北の精神的な底力を感じ、出席を楽しみにしています。会員の皆様には、急な日程調整にご苦勞をお掛け致しましたが、十数名の陣容で行って参ります。しっかりと親睦を深めて来ようと思っています。

今日は、各奉仕委員長の一年間の実績を踏まえての卓話をして頂きます。一年間有り難うございました。来月から担当の次年度奉仕委員長の皆さんは、しっかりと引き継ぎをして頂ければと思います。会長の時間でした。



東京麴ロータリークラブより、インドのポリオワクチンの投与をクラブの奉仕活動からはじめ、地区活動、更に国際ロータリーにまで働きかけ「エンド・ポリオ」をRIの最重要奉仕活動にされた山田・峰両会員の功績を顕彰するために50周年記念事業として「思い出草」を復刻発行され、当クラブにも頂きました。例会中席に回させて頂きますので、お読みください。

委員会報告

◎ニコニコ箱委員会

- ・結婚記念日 自祝
- ・誕生日 自祝
- ・福富先生 塩釜で同じ部屋だそうです
いびきがすごいですがよく！
- ・中野秀一委員長はじめ東村会員、中野隆二会員、森協会員
熊本ボランティアご苦労様でした
- ・本日御出席宜しくお願い致します
- ・6月7日まんま家での第2回クラブ協議会参加
ありがとうございました
- ・クラブ協議会次年度会長、幹事ありがとうございました
中会員お世話になりました 感謝 早退 お詫び
- ・第2回クラブ協議会大変お世話になりました
- ・熊本地震復興支援活動にご協力いただきありがとうございました 感謝
- ・熊本地震復興支援行って来ました 中野秀一さんお世話になりました
有難うございました 中野隆二さん、森協さんお疲れ様でした
高島さんご馳走になり有難うございました
- ・佐藤さん、木村さん、ごちそう様でした
- ・メイクアップ無
- ・熊本復興支援、おつかれ様でした
中野秀一さん、東村さん、森協さんありがとうございました
本日もニコニコへの御協力ありがとうございます
- ・大東さん、田川さんありがとうございました 感謝
- ・屋久島で縄文杉観て来ました

- 中野 隆二 委員長
- 空門 満也 君
- 松原 清一 君
- 小川 芳男 君
- 大東 弘 君
- 橋本 正幸 君
- 田川 和見 君
- 杉原 巨峰 君
- 木村 克己 君
- 中野 秀一 君
- 東村 正剛 君
- 間 紀夫 君
- 安田 智洋 君
- 中野 隆二 君
- 柿木 篤 君
- 谷中 宗貴 君



◎米山奨学委員会

安田 智洋 委員長

米山奨学生 カドウカ マダン さん

ネパールより来られた米山奨学生のカドウカ マダンさんが例会を訪問、近況報告して頂きました



◎社会奉仕委員会

佐藤 多加志 委員長

＜熊本地震復興支援 被災者支援炊き出し事業＞

事業実施内容

2016年4月熊本大震災発災後、大規模の避難所には支援が行き届いておりますが、小規模の避難所にはまだまだという状況です。この度、大東ロータリークラブとNPO 法人国境なき奉仕団との共催にて、支援の行き届いていない西原村山西小学校の避難所の皆様を対象に炊き出しを行いました。

事業内容

・熊本県西原村立山西小学校避難所200名を対象に、2016年6月11日(土)昼食の炊き出しとしてステーキとサラダのセットを提供させていただきました。又、当クラブ森協会員よりデザート(ゼリー)600食分をご提供いただき配布してきました。ご協力頂いた皆様、有難うございました。

大東ロータリークラブ現地活動参加メンバー

- ・中野秀一・東村正剛・中野隆二・森脇克弥

外部協力団体

- ・NPO 法人国境なき奉仕団・一般社団法人田川青年会議所・西原村社会福祉協議会



「 今年度の実績報告と反省 」



◆クラブ奉仕委員会 樋口 秀和 委員長
五大奉仕の第一部門である「クラブ奉仕部門」について

a クラブ定款第5条で「本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員がとるべき行動に関するものである」と規定されています。

b CLPの導入により、クラブ奉仕部門はクラブ管理運営部門と称されるようになっています。

クラブ奉仕委員会の役割は、クラブを円滑に機能させるために、各ロータリアンがクラブ内においては、1. 例会に出席する 2. クラブの親睦活動に参加する 3. クラブのプログラムに参加する 4. 委員になる 5. 理事を務める 6. 会費を支払う
クラブ外においては、1. クラブを代表する 2. 地区大会に出席する 3. 地区委員になる

これらの活動により、会員が自分の職業を通じて、地域社会により効果的に奉仕することができると考えられます。

立派に社会で活躍されている職業人をロータリアンとしてロータリークラブに入会していただいた会員がさらに職業を通じて、地域社会に奉仕することが効果的でより充実したものになるように、クラブ内での諸活動でもって支援することです。社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の諸活動をも効果的に奉仕できるように支援することです。

ロータリーの奉仕活動の哲学について考えてみますと、

- a ロータリー活動の基本は優秀な職業人であるロータリアンが毎週一回、例会に出席してロータリーの哲学である「奉仕の心」を学び、それを通じてお互いに親睦を深め、奉仕の原点であるロータリアンが職業奉仕の活動を充実していき、さらに社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の奉仕活動を充実発展させていくことです。
- b ロータリーの奉仕の哲学は、単なる理念の提唱でなく実践の哲学であります。この哲学を実践する対象である社会環境や、国際環境に大きな変化が起こっています。奉仕活動の対象から何が必要なニーズかについて調査し、効果的な奉仕活動を行うことが大切であります。
- c 現在では、ロータリー活動が単独の活動では、効果的な結果を実現することが困

難になってきています。

ロータリアン等がお互いに連携して、機能的に活動すべきであることが強調されています。

クラブで戦略計画を立て、ロータリーの理念と実践の調和を保った奉仕活動ができるようにすることが重要となっています。

ロータリーの奉仕活動の実践は個人奉仕が原則であって、クラブ等が行う奉仕活動は会員の奉仕活動の実践が効果的になるための教育的な事例であると考えられます。小川会長の方針に基づき、今年度のクラブ戦略計画を実行し、目標を達成させるためには、次の項目が大切であります。

- a 会員増強 クラブを維持していくためには新入会員の増強が重要であり、奉仕活動の推進にとって大切であります。
- b 広 報 クラブ会員への広報及び対外的な広報があり、最も大事な広報は、ロータリアン一人一人が自ら、ロータリー活動を地域社会に正しく伝えることです。
- c 出 席 毎週の例会に出席して、お互いに胸襟を開いて親交を深め、奉仕活動に関する情報を語り合う大切な機会です。
- d 卓 話 卓話者が自己の職業を通じて社会に奉仕している専門的な話題や事業に対する取り組みなど、会員にとって知識や教養を高め、情操を豊かにする卓話が望まれます。

平成27年7月7日にクラブ奉仕委員会委員長としてクラブ奉仕委員会の役割について卓話をさせていただきました。

平成27年8月18日に「まんま家」に於いて、クラブ奉仕、ロータリー情報集会を開催させて頂き、多数の会員の出席を得て、有意義な情報集会になりました。

平成27年12月22日にクラブ奉仕部門についての「前期を省みて」について卓話をさせていただきました。

次年度の地区での各委員の選出について、地区から各クラブに案内状が届き、次年度に地区委員会で活躍してもらう会員として、中野秀一会員が職業奉仕委員会に、中野隆二会員がインターアクト委員会にそれぞれ届出されました。

クラブのリーダーとして、委員会活動での成果をクラブにもたらしてもらいたいと思います。

当クラブのクラブ奉仕委員会は、クラブ奉仕委員会委員長とクラブ奉仕の特定分野を担当する、13の委員会によって構成されています。

各委員会は会長方針に基づき、立派に奉仕活動をされたと思います。

以上、報告させていただきます。



◆ロータリー情報委員会 岡本 日出士 委員長
 会員減少など色々な事情の中で40年続いた幹事→情報委員長の慣例を変えての委員長拝命でありましたが関係諸兄の期待に応える事が出来ず申し訳なく思っています。

幸い本年は4名の新会員を迎える事が出来、嬉しい限りであります。

当クラブの最重要課題であります会員の拡大について、拡大成功クラブ等の事例も種々の情報伝達手段で御承知の通りですが、もっと他クラブや地区の実践を勉強し皆様にお伝えすべきであったのと思いが叶わず申し訳なく思っています。

大東ロータリークラブが会員にとって地域社会にとっても魅力あり価値ある存在であり続ける事が、クラブの一層の発展、会員の拡大にも繋がります。

反省を踏まえ報告に代えます。



◆職業奉仕委員会 木村 克己 委員長
 本年度の職業奉仕委員会の活動は主に後半（2016年1月以降）に集中しました。

1月19日の例会では、2680地区 PDG 田中毅氏によるアーサー・フレデリック・シェルドンについての論文をテキストに「ロータリー及び職業奉仕の歴史」についての卓話をさせていただきました。私自身「職業奉仕」について色々勉強したのは初めてでしたが、「解れば解るほど、解らないことが出てくる」状態で、奥が深い概念であることを再認識致しました。当日夜の情報集会においても、引き続き参加されたメンバーの皆さんより各々が考える「職業奉仕」についてお話しいただき、その理念について改めて深く考える良い機会となりました。

1月28日には、大東市が主催する「経営者によるキャリア教育学習出前授業」に参加する形で、谷川中学校の1年生4クラスの生徒さん達を対象に、当クラブから8名の講師を派遣致しました。計8コマの授業が同時に行われ、私も各教室を回って数分ずつ聴かせて頂いたのですが、どの授業も我々大人でも是非とも聴講したくなる内容で、生徒さん達も真剣な眼差しで集中して聴いておられました。8コマともビデオで全編録画して記録として残せば良かったと反省しております。

1月28日には、大東市が主催する「経営者によるキャリア教育学習出前授業」に参加する形で、谷川中学校の1年生4クラスの生徒さん達を対象に、当クラブから8名の講師を派遣致しました。計8コマの授業が同時に行われ、私も各教室を回って数分ずつ聴かせて頂いたのですが、どの授業も我々大人でも是非とも聴講したくなる内容で、生徒さん達も真剣な眼差しで集中して聴いておられました。8コマともビデオで全編録画して記録として残せば良かったと反省しております。

4月5日は春の家族会として姫路城に行って参りました。当日は丁度桜が満開の上、絶好のお天気に恵まれ、ご婦人方を含め総勢34名で春の1日を楽しんで参りました。会員の皆様のご協力により1年間の活動を無事終えることができました。本当にありがとうございました。



◆社会奉仕委員会 佐藤 多加志 委員長

本年度、方針よりこれまでの社会奉仕に対する変革提言を抱えました。

経緯の検証と課題点として

- 1) 共同募金に参加 クラブが窓口として相応しいのか如何か？
- 2) 大東市療育センターへの慰問品贈呈 本当の慰問 が行われているのか？
- 3) 歳末たすけあい募金に参加 クラブが窓口として相応しいのか如何か？
- 4) 交通安全運動に参加 本来の意味ある「運動」として参加出来ているのか？
- 5) 大東市民祭り実行委員会の委員として参画 意味ある参画かどうか？
- 6) 薬物乱用防止活動 援助先と慣れ合いになっているのではないか？
- 7) 今、地域、国内、海外が求める「社会奉仕」と我々ロータリーが提唱する「社会奉仕」の検証

検証結果として

- 1) 共同募金 3) 歳末助け合い募金 ですが、共に「任意」の募金であります
「共同募金」¥500

「歳末たすけあい」は、別途例会時特別徴収¥2,000-(年によれば欠席者にも後日請求)しています。

あくまで、「任意」であり金額も自由と考えます。

また、集められた「募金」は大東市社会福祉協議会を經由し大阪府に一旦集金され一部を大東市福祉協議会に配分金として拠出されます。

使途としては、配分金は、ひとり暮らし高齢者給食サービス事業、ボランティアセンター事業、各種団体の助成事業などに活用されてます。全てが「大東市」で活用されていません。

他に、「大東市」で活用を主旨に考えるならば社会福祉協議会の事業である「高齢者見守り事業」や「高齢者生活サポート事業」「生活困窮者自立支援事業」「福祉機器銀行」等他に善意銀行 福祉基金等もありクラブとして行うのであれば、奉仕目的に合った「募金」や「奉仕」が理想と考えます。

2) 大東市療育センターへの行事出席については慰問でなく「出席」として参加すべきと考えます。*先方は、「来賓」として招いているようです。

「慰問とは」不幸な境遇の人や、災害・病気で苦しんでいる人などを見舞う事。これまでの行事毎の「飲料」贈答については職員・保護者のお茶代わりに利用されており不要と考えます。行事出席時に会長や委員長が個人負担で手土産程度にすれば良いと考えます。

もし、今後何らかの形で関係を継続させるのであれば、センターが子供たちの教育の一環として「必要」な遊具や教材・施設関連等で支援するべきと考えます。

4) この運動目的は市民に対する交通マナーとルールの遵守と習慣づけ、また道路環境改善を目的としており大東市は下より市内企業・団体が啓蒙を行う事として今後も継続参加すべきと考えます。

5) 市民祭りに関しても、「郷土愛」を育み「まちづくり」の一環としての大きな事業であり主旨からも参画奉仕の観点からも継続すべきと考えます。

市民祭りにクラブとして、ブース出展を行い大東 RC の奉仕活動 P R 等も検討すれば良いと考えます。

6) 薬物乱用防止活動についてですが、これまでの大東市薬物乱用防止指導員会へのリーフレット、クリアファイルの寄贈について本年度は、クリアファイルのみを「大東市地域保健課」に寄贈としました。

リーフレットや啓発グッズは大阪府の健康医療部業務課麻薬毒劇物グループより無償で提供してくれるので購入寄贈の必要が無いと考えました。

また、昨年度まで行っていた市民祭りにおける「啓発グッズの配布」は、ブース出展されている大東市薬物乱用防止指導員会（ここ個人が大阪府より委嘱されて大東市の方々に任意に作られた会です）の方々は、大東 RC の事業として配布しており、お手伝いをして頂いているとは思っていただけなかった様で、啓発物品は、これまで無くなれば大東 RC に言えば、支給頂けるものと思っておられたようです。今後も、継続して寄贈するのであれば「大東市地域保健課」に行えば良いと思いますが、リーフレット代わりの啓発グッズも大阪府に依頼すれば無償提供頂けるので大東市薬物乱用防止指導員会の啓蒙活動に支障は無いと考え次年度以降は不要と考えます。

7) 地域社会における奉仕の機会を定期的に調査し地域ニーズを検討する。

クラブの立場や力量に応じたプロジェクトを組む事。

一般社会に十分に認められる事業とする事。

継続事業については、公共機関、奉仕団体、その他諸団体に移譲する事

これらが、社会奉仕を行う理想形と考えました。

今年度は、東北豪雨災害や熊本大分地震災害が発生しクラブとして義捐金をクラブメンバーに募りました。熊本大分地震災害に対しては、「NPO 国境なき奉仕団」の支援事業に賛同し協賛の形を取らせて頂きました。

拙い委員長であり、まだまだ、社会奉仕としては「課題」を残した中での年度末となりましたが、会長・理事会・メンバー各位にはご理解賜り、ご支援頂きました事に感謝申し上げ報告とさせていただきます。



◆国際奉仕委員会 中野 秀一 委員長

本年度の国際奉仕事業としては、大地震により壊滅的な被害にあったネパール連邦民主共和国・カトマンズにおいて、当クラブと NPO 法人国境なき奉仕団・公益社団法人日本青年会議所・JCI ネパール・カトマンズ西ロータリークラブと連携して、被災地

の青少年に対するケアプログラムを10月15日から実施致しました。皆様から頂いたご寄付により、避難テント村の子供たちをはじめ、前年度行った水インフラプロジェクトの実施先でもある職業訓練施設「アーリーリハビリテーションセンター」の恵まれない子供たちに、不足している文房具やキルティング人形作製に必要なフェルトパンチャー（針）を寄贈致しました。又、日本の中学生たちからの激励の絵葉書を持参し内容を紹介すると共に、現地の子供たちと我々が日本古来からある遊び（折り紙・紙風船・竹とんぼなど）やお祭り（縁日）を通じて心の交流を図ることが出来ました。現地の子供たちからは日本に対する感謝の気持として、絵やメッセージを画用紙に描いていただき、日本の中学生たちへ、現地での活動内容の報告と共に手渡され、子供たちにも民間外交の重要性や世界平和実現への啓発活動に寄与できたのではないかと思います。

後半の事業として、WCS 事業を昨年に引き続き台湾の雙溪RCと連携して行いました。事業内容としては台湾の台中、南投県において青少年に対する識字率の向上と特殊技能の取得を目指して、現地のカトリックミッションの協力で行うものです。当クラブとしては姉妹クラブの雙溪RC創立25周年記念式典で国際交流を行うと共にWCSの贈呈式を行いました。

2月2日には例会での卓話と情報集会において、「ロータリーの心と実践」から抜粋した資料を基に、国際奉仕の歴史や理念をメンバーの皆様と共に学び、クラブの歴代国際奉仕担当委員長から、活動内容の振り返りと「当時の思い」や「伝えたいこと」などをお聞きし、国際奉仕に対する理解を深める事が出来ました。

この一年間、国際奉仕の活動に対し、メンバーの皆様には多大なるご理解とご協力を賜りました事、心より感謝申し上げます。有難うございました。



◆青少年奉仕委員長 東村 正剛 委員長

青少年健全育成を目的に本年度は、継続事業である第36回大東RC旗争奪少年野球大会と第10回大東市小中学校弁論大会に協賛しました。

いずれも継続事業ではありますが、子どもたちの一生懸命な姿、大会までの努力した成果発表できる場

として続けてきておられ、子どもたちのそのような姿を見る事ができる事業です。とても良い事業だと思います。

事業につきまして、会長はじめ会員の皆様には大変お世話になり感謝いたしております、ありがとうございました。

また5月の青少年月間では、卓話を担当させて頂き、入会間もない会員や欠席された会員の方々に弁論大会の様子をビデオで見て頂き、この事業の素晴らしいところを皆様に感じていただきました。

また情報集会におきましては、大東RCの青少年奉仕委員会のこれまでの歴史や今後の方向性を皆さんと議論できました。

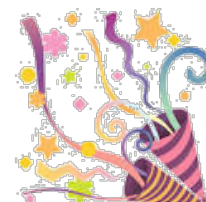
次年度は中野会員にこれらを引継ぎさらに青少年事業をよりよいものにして頂きたいと思います。

今後、大東ロータリークラブのブランディングを確立する意味でも、積極的に青少年事業には関わる必要があるのではないかと思います。

◎ゴルフ同好会

中野 秀一 キャプテン

大東ロータリークラブ第5回ゴルフコンペが、2016年6月17日（金）に仙台 利府ゴルフクラブにて、当クラブ会員11名と塩釜東RCメンバー4名の合計15名で開催いたしました。優勝は大東 弘会員でした。
一年間お世話になり有難うございました。

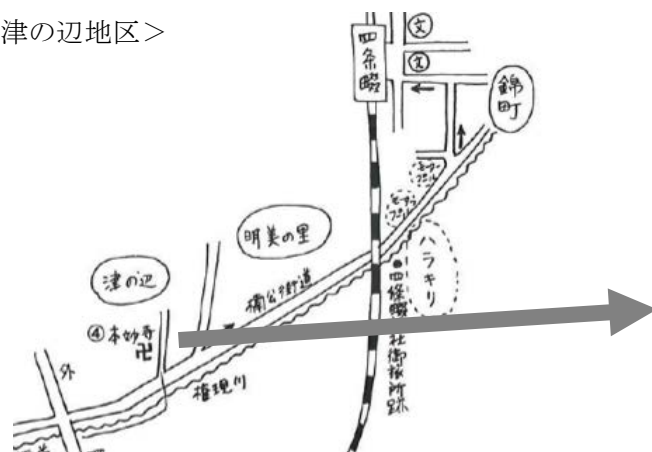


大東歴史散歩コース

河内街道（寝屋川・権現川）に沿って・・・

パート 18

<津の辺地区>



④ 本妙寺 日蓮宗久遠寺末。創建については永享元年（1429）村の角先重右衛門が日蓮宗道場を建てたとする説と、文安二年（1445）京都本圀寺第十四世日助上人が法難を避け、この地に上がり数カ月後に八丁四方の大伽藍を興したの説とがある。



2016～2017年度の集合写真を7月5日（火）

例会終了後に撮影いたします。

7月5日は上着・ネクタイ着用でお越しく下さい。

